

## 地球環境局地球温暖化対策課

## 1. 事業の必要性、概要

現在、2013年以降の中長期的な気候変動対策についての議論が国際的に本格化するなど全世界的に長期的、継続的な排出削減を目指すことが必要となっており、我が国としても2008年に閣議決定された「低炭素社会づくり行動計画」など、低炭素社会に向けた様々な政策が必要となっている。

低炭素社会実現に向けた国内機運を高めるとともに、東日本大震災による電力需給の逼迫を受けた企業及び国民の節電の取組の推進にも資するため、企業及び国民のビジネススタイル、ライフスタイルの変革を音楽、映画、ファッションやスポーツなどとの連携や様々なメディアの活用を通じて呼びかけ、国民一人一人の更なる温暖化防止行動の喚起を図る。

## 2. 事業計画（業務内容）

温室効果ガス削減に向け、企業、国民等の各層に対し地球温暖化防止の国民運動の認知率向上、賛同・参加の促進を図ると共に、企業・団体に対して、又は企業・団体と連携し、国民一人ひとりに対して、温室効果ガス削減に向けた6つのチャレンジの推進、健全な危機意識の醸成及び温室効果ガス削減、省エネ技術・機器の導入の必要性の啓発を、HPや各メディアの活用等を通して実施し、個人だけの取組に終わらないよう、家庭、職場、地域での取組を広げる工夫や、地球温暖化防止活動の実践意欲を刺激するようなスキームを構築し、温室効果ガス削減に向けた国民的機運を盛り上げていく。

また、日本の各地域において、低炭素社会づくりに向けた取り組みを行うNPO等の民間団体の活動を、地域メディアを通じて紹介・支援し、番組等で取り上げることで、地域における低炭素社会づくりへの意識の高まり・行動を喚起し、国民1人1人が足下から行動する社会を目指す。

なお、メディアの活用にあたっては、予算をシーズマネーとして活用し、企業等との連携・自走化を図る。

## 3. 施策の効果

本事業では、温室効果ガスを現時点及び中長期的に削減するため、世界全体として目指している「低炭素社会」や温室効果ガス削減に向けて、企業及び国民がワークスタイル及びライフスタイルの変革のための行動を起こすよ

う、様々なメディアを利用して節電や省エネの推進にも貢献する低炭素社会に対する認知と理解を含め、さらに具体的な行動に着手することを目標とする。

# 温暖化防止国民運動推進事業

## 【6つのチャレンジ】

- 1 エコな生活スタイルを選択しよう
- 2 省エネ製品を選択しよう
- 3 自然を利用したエネルギーを選択しよう
- 4 ビル・住宅のエコ化を選択しよう
- 5 CO<sub>2</sub>削減につながる取組や商品を応援しよう
- 6 地域で取組む温暖化防止活動に参加しよう

- 「温暖化防止国民運動推進事業」で提案する「6つのチャレンジ」の実践を国民、企業等に訴求するとともに、クールビズ、ウォームビズ、スマートムーブ、朝チャレ！等の事業を推進。
- 国民運動に賛同する「個人チャレンジャー」「企業・団体チャレンジャー」を募集。  
(平成23年12月現在一個人約86万人・企業約2万2千社)
- 最新の省CO<sub>2</sub>設備や施設等の設置促進のための情報提供を、SNSを含む様々なメディア等も活用しつつ実施。

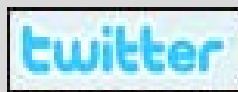
### ①国民運動の認知率向上、チャレンジャーの獲得



(温暖化防止国民運動 HP)



(温暖化防止特別イベント)



(双方向メディアによる情報提供)

### ④スーパークールビズ

(冷房時の室温を28℃に設定しても快適に過ごせるライフスタイルの提案)



(クールビズポスター)

### ⑤ウォームビズ

(暖房時の室温を20℃に設定しても快適に過ごせるライフスタイルの提案)



### ②先進的な環境技術の紹介、省CO<sub>2</sub>機器、施設の情報提供



●最先端の環境技術を映像で紹介



●省CO<sub>2</sub>設備の紹介、エコビジネスの促進

### ⑥スマートムーブ ～「移動」を「エコ」に

・「移動・交通」に伴うCO<sub>2</sub>排出量を削減するため、CO<sub>2</sub>排出の少ない移動へのチャレンジを提案

・「環境にいい」だけでなく、「快適・便利」、そして「健康」につながるライフスタイルを「smart move」と名付け、企業・団体、国民に呼びかけ



### ③自治体、企業・団体、NPO等と連携した普及啓発施策の展開



●NPO等とメディアとの連携支援事業



(名チャリプロジェクト)



(雪冷熱エネルギー活用)

### ⑦朝チャレ！(朝型生活にチャレンジ)

「CO<sub>2</sub>を削減する朝の新たなライフスタイルの提案」

(CO<sub>2</sub>削減効果)

照明、エアコン、テレビの使用時間を1日1時間短縮した場合(1世帯/年間)

【照明】約85kgのCO<sub>2</sub>削減

【エアコン】約58kgのCO<sub>2</sub>削減

【テレビ】約22kgのCO<sub>2</sub>削減

(合計)約165kgのCO<sub>2</sub>削減



(朝チャレ！キックオフイベント)



(朝チャレ！HPイメージ)